

安佐市民病院「もの忘れ外来」について 『脳健康パスポート』を活用した認知症ケア



神経内科部長
山下 拓史



わが国の認知症患者数は年々増加しており2020年には300万人に達する見込みです(厚労省)。齢を重ねるにつれ認知症になりやすくなりますが、85歳より高齢の方では実に4人に1人以上が認知症と推定されています。認知症の診断法は確実に進歩しており、頭部MRI検査、脳血流SPECT検査、脳PET検査(保険未収載)などを組み合わせることで、より正確な診断ができるようになっています。また正確な診断がつけば、最適の治療を受けることが可能になります。安佐市民病院では、日頃から通院されている かかりつけの開業医の先生と緊密に連携し、認知症の正確な診断を行う「もの忘れ外来」を安佐医師会(安佐南区と安佐北区の医療機関の団体)の先生方とともに開始しました。認知症も**早期診断、早期治療**が重要で、進行してからでは思うような治療効果が期待できません。また初期の「もの忘れ」は薬でよくなることが実証されています。「もの忘れ外来」では、発症初期(発症後3年以内)に正確な診断を行い、最適の治療を早期から始めることを目指します。

「もの忘れ外来」を受診するには？

「もの忘れ外来」は、開業医の先生から安佐市民病院神経内科にご紹介いただくところから始まります。新しく経験したことを記憶にとどめることが難しい(記憶力障害、もの忘れ)、ここはどこで今がいつなのか分からなくなる(見当識障害)、物事の判断を自分一人ではできなくなる(判断力低下)といったいわゆる認知症状がみられる場合には、遠慮なくかかりつけの開業医の先生に頼んで当院の「もの忘れ外来」に紹介してもらって下さい。健康でどこにも通院されておられない方は、風邪をひいたときやインフルエンザの予防接種などで時たま受診することがある、お近くの開業医の先生にお願いして下さい。開業医の先生からご紹介いただきますと、ご本人とご家族のご都合のよい日時に「もの忘れ外来」の受診予約をとらせていただきます。ご家族からもお話を聞かせていただきますので、お手数をおかけしますが、必ず**ご家族と一緒に**受診をお願いします。「もの忘れ外来」には全部で3回くらい外来受診していただき、診察、血液検査、画像検査、認知機能検査を行います。その結果、現時点で考えられる診断とこれからの治療法についてご本人とご家族にご説明し、『脳健康パスポート』をお渡しします。もちろん、ご紹介いただいた開業医の先生には「もの忘れ外来」の結果を詳しくご連絡いたします。

『脳健康パスポート』を使った包括的認知症ケア

かかりつけの開業医の先生のもとで、いま治療中の病気に加えて認知症の治療が始まります。『脳健康パスポート』には、かかりつけの先生のページ、専門医療機関のページ、介護保険を利用した支援体制としてケアマネジャー・介護サービス・訪問看護ステーション・地域包括支援センターの担当者名を記入いただくページなどがあります。認知症が進行するといろいろな困った症状が現れる場合がありますが、専門医療機関によるサポート体制については受診時にご説明します。

昨年6月に「もの忘れ外来」を開始しましたが、既に100名を超える方が受診され、『脳健康パスポート』を手に入れています。そして、かかりつけの開業医の先生のもとで認知症の治療も併せて受けておられます。「もの忘れ」が気になる場合には、開業医の先生にまずはご相談ください。



A5 サイズ。かかりつけの先生、専門医療機関、介護の支援体制など一目でわかります。



この後、10ページまで認知症ケアに関する内容が続きます。(平成24年2月21日)

2

ご開業の先生へ



平成 23 年 6 月開始

広島市立安佐市民病院『もの忘れ外来』のご案内

安佐医師会 病診・診診連携委員会
認知症診断地域連携パス WG チーフ
広島市立安佐市民病院神経内科

山下 拓史

いつもお世話になり有難うございます。安佐医師会認知症診断地域連携パスは好評で、昨年 6 月に開始後、おかげさまで 100 名を超える患者さまを安佐市民病院「もの忘れ外来」にご紹介いただいております。『脳の健康パスポート』を患者さまとご家族は手にされ、かかりつけの先生のもとで認知症の治療も併せて受けておられます。広島市 8 区で認知症患者数 1 位、2 位を占める安佐南区、安佐北区で始まった安佐医師会認知症診断地域連携パスですが、その入り口である安佐市民病院「もの忘れ外来」は、症状が現れて 3 年以内の初期の認知症を対象とし、早期診断・早期治療を目指します。最初にもの忘れが目立ち始めた時に患者さまとご家族は、専門医にきちんとした診断をつけて欲しい、症状を改善する何かよい治療があれば試してみたいと多くの方が希望されます。手続きは簡単ですので、安佐市民病院「もの忘れ外来」にご紹介いただければ幸いです。

「もの忘れ外来」の流れ — 『脳の健康パスポート』開始まで—

安佐市民病院地域医療連携室を通じて、神経内科にご紹介ください。主訴又は症状名の欄に「もの忘れ外来」、紹介目的の欄に「認知症パス」とお書き下さい。貴院での診療内容について情報提供をお願いします。患者さまには、「必ずご家族と一緒に、全部で 3 回くらい外来受診いただくよう」ご説明をお願いします。

3

5

紹介状・診療情報提供書(予約申込書)

FAX 082-815-5691

平成 年 月 日

(受付時間 平日8:30~16:40)

<依頼医療機関>

広島市立安佐市民病院 医療連携室

住所

〒721-0293

名称

広島市安佐北区可部南2-1-1

医師氏名

TEL 082-815-5211(3250)

電話番号() -

FAX番号() -

ふりがな		住所	
氏名	様男・女		
生年月日	明・大・昭・平 年 月 日(漢才)	電話番号	() -
安佐市民病院受診歴 有 (ID番号) 無			

診療希望		希 1. 平成 年 月 日 (曜日)
(神経内科)科		望 2. 平成 年 月 日 (曜日)
指定医 <ご希望があれば記入してください>		日 3. 特に希望なし
()医師		

検査希望		希 1. 平成 年 月 日 (曜日)
検査名()		望 2. 平成 年 月 日 (曜日)
		日 3. 特に希望なし

紹介目的	<input checked="" type="radio"/> ①診療 <input type="radio"/> ②検査 <input checked="" type="radio"/> ③その他(認知症パス)
主訴又は疾病名	もの忘れ外来
既往歴及び家族歴	高血圧で通院されている患者さんです。半年前から、もの忘れが目立つようになり、ご家族が検査を希望されています。よろしくお願ひします。
病状経過	
治療経過	処方 アムロジン(5mg)1錠 1x朝食後
現在の処方	
患者の状態等	
要望事項	
留意事項等	

この様式は安佐市民病院ホームページからダウンロードできます。認知症診断地域連携パスについても詳しく説明しておりますので、ぜひご覧ください。

「もの忘れ外来」では診察、血液検査、画像検査、認知機能検査を行います。検査結果から現時点で最も考えられる認知症のタイプについて患者さまとご家族に説明し『脳の健康パスポート』を渡します。ご紹介いただいた先生には診断と治療方針についての逆紹介状を送らせていただきます。認知症の診断法は確実に進歩しており、頭部 MRI 検査、脳血流 SPECT 検査、脳 PET 検査 (保険未収載)などを組み合わせることで、より正確な診断ができるようになっていきます。正確な診断がつけば、患者さまとご家族の納得がゆくかたちで、かかりつけの先生もとで「認知症疾患治療ガイドライン 2010」に基づいた最先端の治療を受けることが可能になります。ご紹介をお待ちしています。(平成 24 年 2 月 21 日)

④

患者さまとご家族のみなさまへ



広島市立安佐市民病院「もの忘れ外来」について

『脳健康パスポート』を活用した認知症ケア

広島市立安佐市民病院神経内科

山下 拓史

わが国の認知症患者数は年々増加しており2020年には300万人に達する見込みです(厚労省)。年齢を重ねるにつれ認知症になりやすくなりますが、85歳より高齢の方では実に4人に1人以上が認知症と推定されています。認知症の診断法は確実に進歩しており、頭部MRI検査、脳血流SPECT検査、脳PET検査(保険未収載)などを組み合わせることで、より正確な診断ができるようになってきました。また正確な診断がつけば、最適の治療を受けることが可能になります。広島市立安佐市民病院では、日頃から通院されているかかりつけの先生(ご開業の先生)と緊密に連携し、認知症の正確な診断を行う「もの忘れ外来」を安佐医師会(安佐南区と安佐北区の医療機関の団体)の先生方とともに開始しました。認知症も早期診断、早期治療が重要で、進行してからでは思うような治療効果が期待できません。「もの忘れ外来」では、発症初期に正確な診断を行い、最適の治療を早期から始めることを目指します。

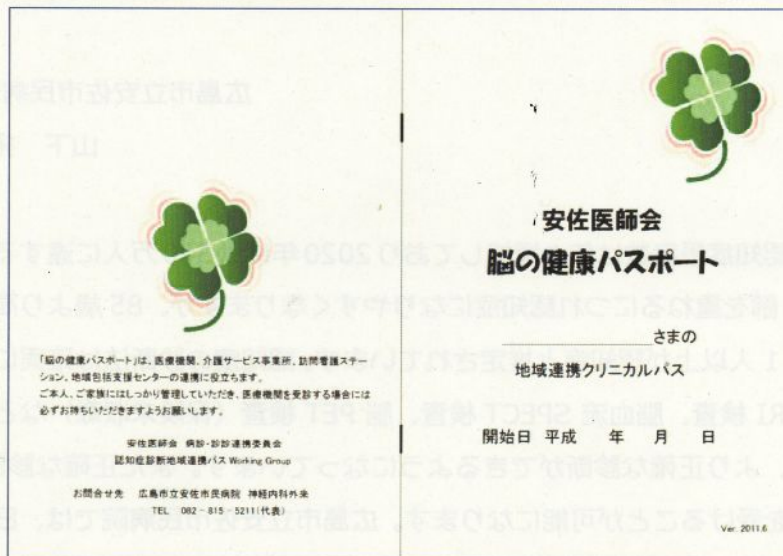
「もの忘れ外来」と『脳健康パスポート』

かかりつけの先生から、広島市立安佐市民病院神経内科「もの忘れ外来」にご紹介いただくところから始まります。お手数をおかけしますが、全部で3回くらい外来受診をお願いします。また、ご家族からもお話を聞かせていただきますので、必ずご家族と一緒に受診をお願いします。診察、血液検査、画像検査、認知機能検査を行い、現時点での診断について患者さまとご家族にご説明し、『脳健康パスポート』をお渡しします。

5

かかりつけの先生のもとに戻り、治療中の病気に加えて認知症の治療が始まります。
『脳健康パスポート』には、かかりつけの先生のページ、専門医療機関のページ、介護保険を利用した支援体制としてケアマネジャー・介護サービス・訪問看護ステーション・地域包括支援センターの担当者名を記入いただくページなどがあります。認知症が進行するといろいろな困った症状が現れる場合がありますが、専門医療機関によるサポート体制については受診時にご説明します。

もし「もの忘れ」が気になる場合には、かかりつけの先生にまずはお相談ください。



A5 サイズ。かかりつけの先生、専門医療機関、介護の支援体制など一目でわかります。

<p>基本</p> <p><留意事項> 各施設間での必要な情報の交換、情報提供とパスの適応に同意します。</p> <p>ご本人 安佐 花子 様</p> <p>ご家族① 安佐 太郎 様 TEL 082-0000-0000</p> <p>ご家族② 安佐 良子 様 TEL 090-0000-0000</p> <p>かかりつけ医 (押印でも構いません) ①②は連絡先順位</p> <p>医療機関 広島内科</p> <p>主治医 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p>介護保険要介護① (○) ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺</p> <p>専門医療機関 (押印でも構いません) <認知機能の検査></p> <p>① 医療機関 安佐市市民病院神経内科 主治医 ○○○○ TEL 082-815-5211</p> <p>② 医療機関 宮島脳神経外科 主治医 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p><SPSDの診療> 精神科医・広島県認知症サポート医</p> <p>① 医療機関 平クリニック 主治医 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p>② 医療機関 源病院 主治医 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p>	<p>基本</p> <p><介護の支援体制> (押印でも構いません) ケアマネジャー(介護支援専門員) 在宅介護支援事業所 さくら</p> <p>事業所 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p>介護サービス</p> <p>① デイサービス つめ 事業所 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p>② デイケア ひまわり 事業所 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p>③ 特別介護老人ホーム さざんか 事業所 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p>④ 老人保健施設 つつじ 事業所 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p>訪問看護ステーション</p> <p>① 訪問看護ステーション もみじ 事業所 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p>② 訪問看護ステーション きく 事業所 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p>広島市 地域包括支援センター 社会福祉法人 ばら</p> <p>事業所 ○○○○ TEL 082-0000-0000</p> <p>圏域(○印) 安佐支店 ① 白木 ② 宮島 ③ 三入 ④ 可部 ⑤ 三入 ⑥ 可部 ⑦ 可部 ⑧ 可部 安佐東区 ① 城山北・城南 ② 安佐・安佐南 ③ 高取北・安西 ④ 安部・城東 ⑤ 城東・長瀬 ⑥ 戸山・保・大塚</p>
---	--

この後、10 ページまで認知症ケアに関わる内容が続きます。(平成 24 年 2 月 21 日)